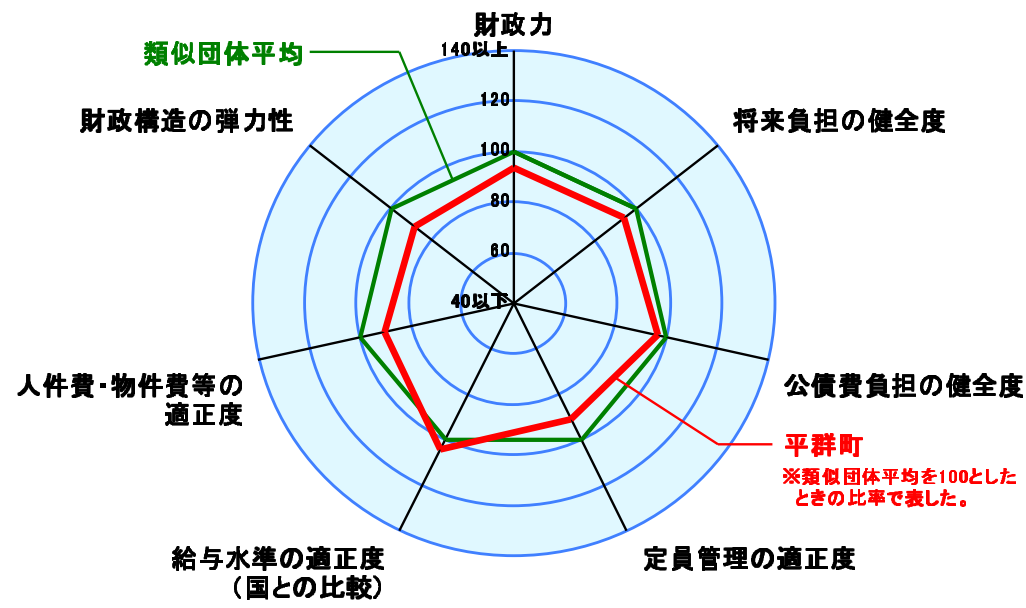
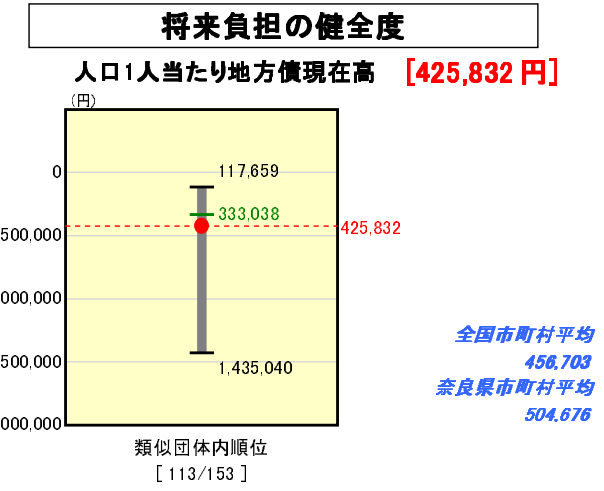
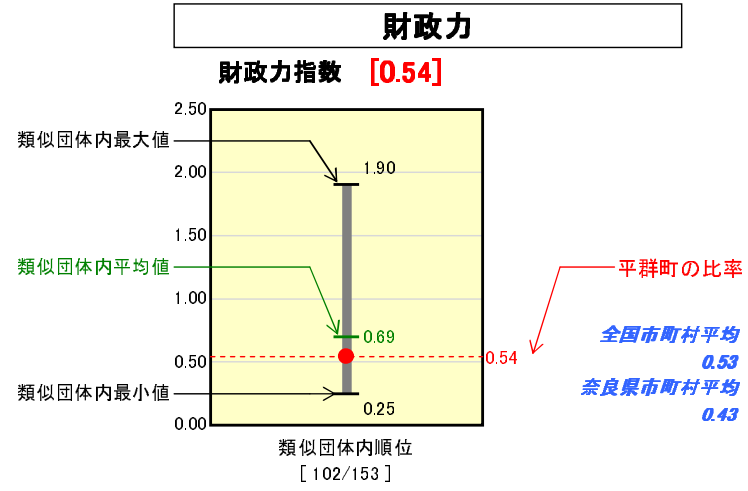


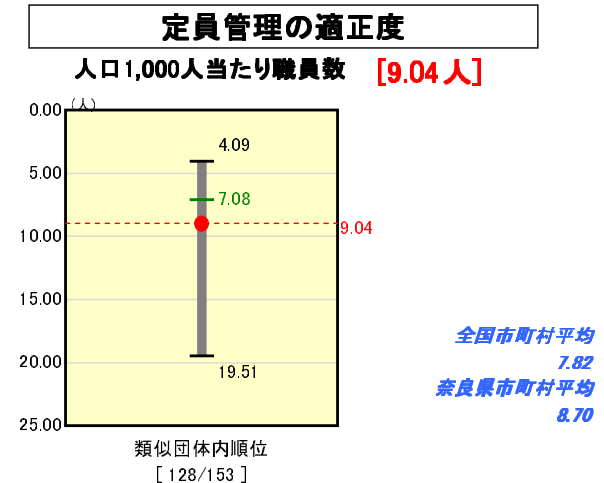
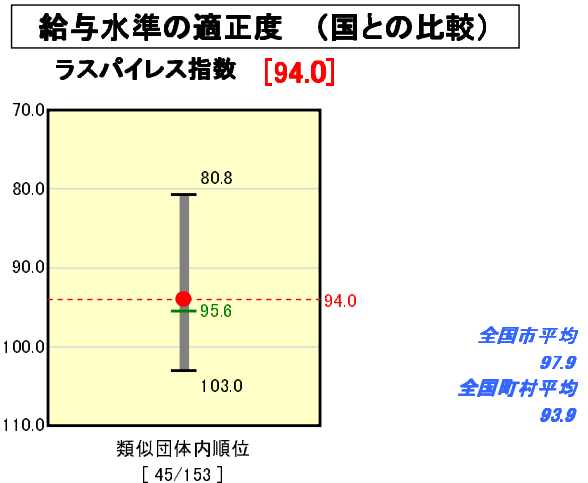
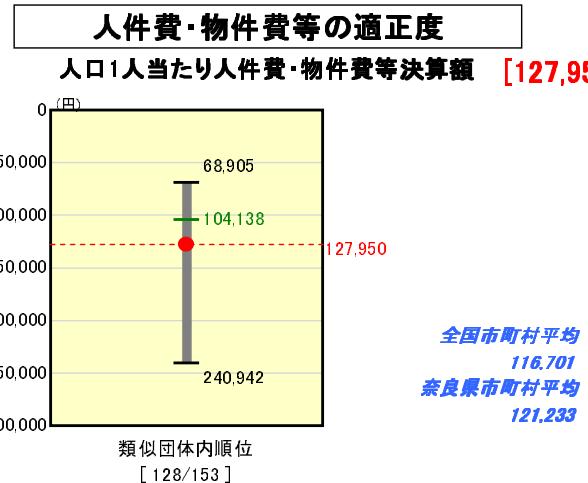
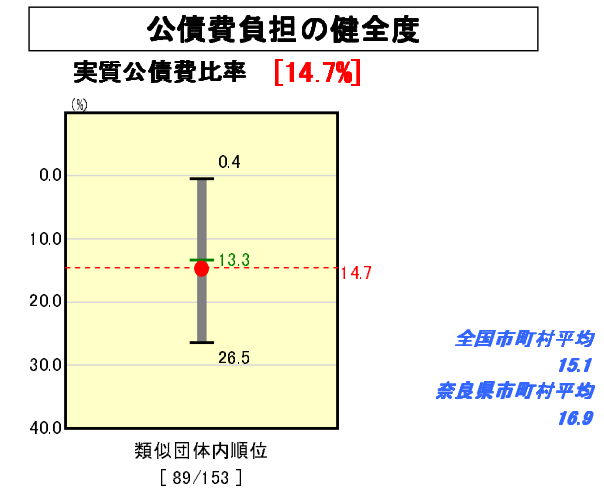
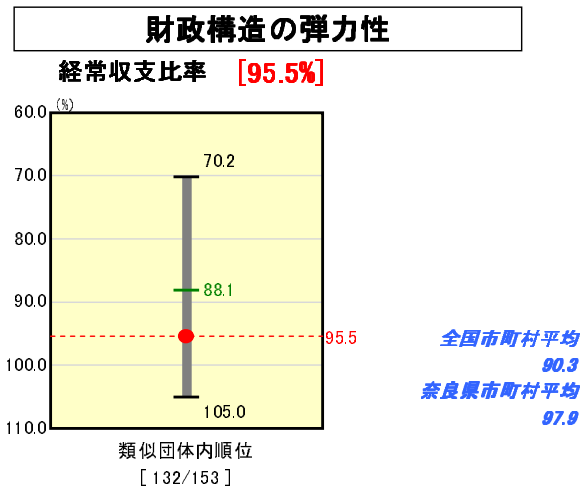
市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

奈良県 平群町

人口	20,581 人(H19.3.31現在)
面積	23.90 km ²
歳入総額	5,786,269 千円
歳出総額	6,111,194 千円
実質収支	-331,003 千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

- 財政力指数**
 歳入面では、税制改正等の影響により微増したが、依然として減少傾向にあり、また主だった法人事業所が少ないこともあり税収入が低い水準にある。歳出面では、人件費・公債費の占める割合が高く、また高齢化に伴う社会保障関係の支出が増加しており、結果として指数は類似団体と比べて低い水準にある。
 今後「財政健全化計画」に掲げた取り組み事項を基本に、事務事業の見直しなど義務的経費をはじめとした歳出の抑制を図り、健全化・効率化をおこなう。
- 経常収支比率**
 17年度に実施した地方債の借換により一定公債費償還の平準化をおこなったが、保育所、給食、清掃施設等を直営で運営していることによる義務的経費が高い割合を占めている。
 今後、職員数の適正化を図りながら、事務事業の効率化に努める。
- ラスパイルズ指数**
 「健全化計画」に基づく措置として、職員の給与カット(課長級9%、主幹級7%、一般職6%)の実施、退職補充の抑制等により、16年度まで100%を上回る数値で推移してものが、全国平均並に抑制している。
- 実質公債費比率 ■人口1人当たり地方債現在高**
 建設時期が近い大型施設整備の影響により、平均を上回る水準で推移しているが、一方では地方税や地方交付税の大幅な減少による標準財政規模の縮小も比率上昇の一因である。
 民間資金の借換をおこなったことによる平準化の措置を講じる一方で、普通建設事業の抑制により新規の借入れを抑制し、改善に努める。
- 人口1,000人当たりの職員数:**
 本庁舎では類似団体と同水準(4.78 類似団体4.18)であるが、保育園、給食、清掃等の直営施設により、大きく上回っている。
 機構組織のフラット化の推進により平準化、効率化に努める。